

## みんなの広場

### カブトガニの幼生を放流

#### 大きくなってまた戻ってきてね

多々良海岸でカブトガニの幼生放流がありました。幼生は、昨年の夏から牧島小学校の児童や伊万里高校理化・生物部の生徒などが手分けして飼育しました。梅雨の晴れ間となったこの日、児童らは約1,300匹を放流。十数年後、成体になって再びこの海に戻り産卵をしてほしいと願いを込め、干潟の潮だまりに幼生を慎重に放していました。



7.20

↑大切に育てたカブトガニの幼生を放流する子どもたちと保護者

### 『第3回イノピカイルミネーション in 川内野』点灯式 『心に灯かりをともします』を合い言葉に

第3回イノピカイルミネーション in 川内野の点灯式が、東山代町の夢耕房たきの周辺の圃場ほじょうでありました。これは、佐賀大学の学生と連携した地域おこし事業で、市内の建設会社の協力も受けて設置されたものです。イノシシ防護柵のワイヤーメッシュを活用し、光の世界を演出したイルミネーションは、11月末まで楽しむことができます。



8.10

↑夜の田園風景に現れた光の世界

### 伊万里の“いい職”相談会

#### 一緒に伊万里で働きませんか

市民センターで市内の企業など19社による合同求人説明会『伊万里の“いい職”相談会』がありました。これは、人手不足の中、市内外の優秀な人材を確保しようと開催したもので、大卒予定者やU・I・Jターン希望者など28人が参加。参加者は、興味がある企業のブースで会社の概要など説明を受けたあと、熱心に質問をしていました。



8.10

↑関心がある企業のブースで熱心に説明を聞く参加者

### 大川町夏の交通安全キャンペーン

#### 大川ナシで『事故ナシ』『飲酒運転ナシ』

大川町夏の交通安全キャンペーンが、大川町の県道相知山内線沿いでありました。これは、交通事故防止や飲酒運転ゼロを目指して、大川町交通安全協会や大川町交通対策協議会などが約20年前から毎年実施しているもの。この日は、用意した大川産の梨40セットを、通りかかった車のドライバーに交通安全を呼びかけながら手渡していました。



8.6

↑大川産梨『幸水』が入った袋を受け取るドライバー